

秦野市国際交流協会 2010年第1回国際理解講座

「フェアトレードって何？」開催結果

2010年7月4日(日) 午前10時～午後0時半 本町公民館



7月4日日曜日、本町公民館にて、今年度第1回目の国際理解講座が開催されました。

「フェアトレードって何？」というテーマで、身近な国際貢献として近年注目を浴びている「フェアトレード」について、ワークショップに参加しながら体験的に学び、考える講座となりました。

当日は朝から気持ちの良い快晴で、大学生から70歳代まで、37名の幅広い年代層の方に参加いただきました。

講師紹介

コーヒー物語プロジェクト

浜田 祐子 氏 (かながわ開発教育センター)

芝池 玲奈 氏 (アシスタント)

大久保 美希 氏 (アシスタント)



浜田 祐子氏

浜田 祐子

東海大学で国際協力、開発教育を学び、卒業後、英国の開発教育 NGO でインターンを経験。その後、英国リーズ大学院「持続可能なビジネス」コースに進学し、CSR やフェアトレードを学ぶ。

帰国後は、かながわ開発教育センター (K-DEC) の運営委員として、中学、高校、大学、市民団体でワークショップの実践を行う。同時に、「コーヒー物語プロジェクト」を仲間と立ち上げ、フェアトレードを考えるワークショップ「コーヒー村の未来物語」の開発、実践を行う。

2010年4月より社会的企業支援とCSRのシンクタンクに勤務。

第1部 フェアトレードについて知るための ワークショップ

「フェアトレード」とは・・・

❓ 途上国で作られた作物や製品を、適正な価格で継続的に取引することで、生産者の持続的な生活向上を支え、途上国の自立や環境保全を支援する国際協力の仕組みです。

第1部では、5～6人のグループに分かれ、コーヒー豆生産者一家という設定でコーヒー農家の生活をシミュレーションしました。その中で気づいた課題や問題点についてグループ内でディスカッションを行い、フェアトレードの可能性や限界についても話し合い、グループごとに発表を行いました。



シミュレーションするコーヒー農家の状況を説明し合う



コーヒー農家になったつもりで、みんなで豆拾い



頑張って拾ったコーヒー豆は、希望通りの買い取り価格になったでしょうか・・・



豆拾いを通じて感じたことを書き出します

第2部 交流会



第2部の交流会では、ジャスコ秦野店より提供いただいたフェアトレードコーヒーなどを飲みながら、フェアトレードのお菓子とともに参加者同士、意見交換や情報交換に花を咲かせました。

また、会場内で市内でも買えるフェアトレード商品や代表的なフェアトレード団体のコーヒー、紅茶などの商品の展示も行いました。



グループワークの後の交流会の様子。すっかり打ち解けて、フェアトレードコーヒーを片手に会話も弾みます



フェアトレード商品の展示



参加者からの質問に答える大久保さん(左)